

天竜川激特事業の多自然川づくり

平成23年度モニタリング調査結果

【アユの生息状況】



アユ

はじめに

天竜川上流河川事務所では、平成18年7月の豪雨災害を受け、再度の災害防止を図るため辰野町から伊那市の天竜川において、激甚災害対策特別緊急事業（通称：激特事業）を行ってきました。

本事業では、天竜川名物のザザムシやアユをはじめとする河川の自然環境に配慮しつつ実施し、昨年度で完了しました。

今年度も、昨年度に引き続き自然環境モニタリング調査を行っています。

そのうち、「アユの生息状況」の調査結果がまとまりましたので、結果をお知らせします。



北島（箕輪町）の工事後の様子

調査の内容

【調査方法】

- ・放流時（5月）のアユ体長・体重を記録
- ・投網によりアユを捕獲し、体長・体重等を記録
- ・アユの餌（石についた藻類）の量・状態を確認

【調査時期】

- ・平成23年の6月から8月にかけて、月1回

【調査地点】

- ・辰野町から伊那市にかけての6地点



投網による捕獲



藻類調査（石の採取）



今後も川の状況を見守り、少しでもよい方法を探して、「いい川づくり」を目指します。

豊かな水辺づくり・河川事業のことなら



笑顔、きらきら、天竜川。

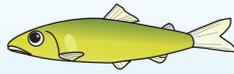
天竜川上流河川事務所

〒399-4114 駒ヶ根市上穂南 7-10
tel 0265-81-6411 fax 0265-81-6421

最新の情報を知りたい時は…
URL <http://www.cbr.mlit.go.jp/tenjyo/>
E-mail tenjyo@cbr.mlit.go.jp

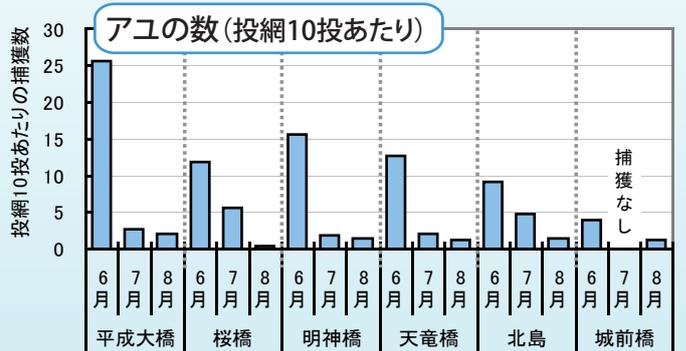
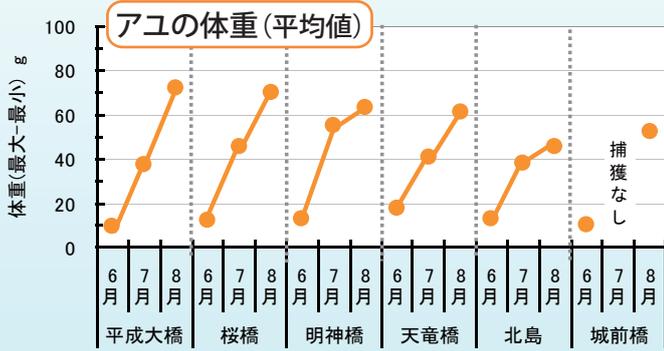
作成 平成23年11月

平成23年度のアユの生息状況



【平成23年度のアユの様子】

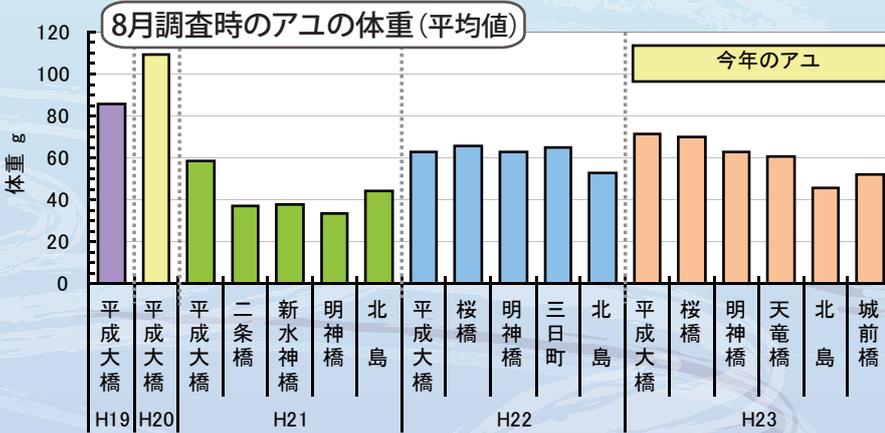
- ・放流時(5月)のアユの体重は、平均で9g程度でした。
- ・6月から8月にかけてアユは成長し、8月調査時には50~70g程度になりました。



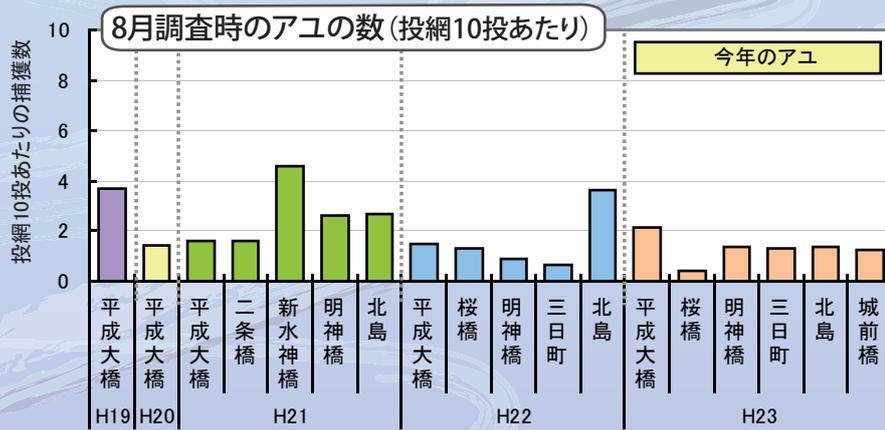
アユの数は釣られたり、カワウなどに食べられ、次第に減少します。6月の数が多いのは、稚アユの放流箇所、放流量も関係します。

【過去の様子と比較すると】

- ・8月調査時のアユの体重は、昨年度と比べて同程度か、やや重い状況でした。
- ・なお、アユの個体数は、過年度と比べ同程度か、やや少ない状況でした。



平成22年8月調査時のアユ(明神橋)



平成23年8月調査時のアユ(明神橋)

【アユの餌(石についた藻類)の様子】

アユは、石の表面に生える藻類(コケ)を餌としています。藻類は川が増水して濁りが濃いと、量が少なくなります。平成23年の藻類の量は、初夏が普通で、夏季はやや少ない状況でした。



石についた藻類

【その他の魚類の様子】

アユ以外に、ウグイやオイカワ、ニジマスなど14種の魚類を確認しました。特定外来生物のククチバスが多く確認され、今後の生息状況に注意が必要です。



ウグイ



ククチバス